

TALON Tips

＜親子関係のある構成データを TALON で表示する＞

株式会社 HOIPOI

第 1 . 2 版

1 目次

1	目次.....	2
2	はじめに.....	3
3	Tips セットアップ	4
3.1	事前準備	4
3.2	事前準備 2	4
3.3	セットアップ.....	4
3.4	セットアップ（その他）	5
4	Tips 概要	6
4.1	概要	6
4.2	処理フロー	7
4.2.1	処理フロー.....	7
4.2.2	処理内容.....	7
4.3	構築のポイント.....	7
4.4	サンプル機能.....	8
4.5	構築方法	8
4.5.1	TALON 機能の構築	8
4.6	利用 TALON 機能.....	12
5	改版履歴.....	13

2 はじめに

本資料はTALON機能を使用した活用例を掲載しております。

「**Tips 共通資料**」と合わせてご確認ください。

また、使用している機能の詳細につきましては「**310_TALON_機能構築マニュアル**」、基本的に機能の構築方法につきましては「**300_TALON_機能構築チュートリアル**」を合わせてご確認ください。

補 足

TALON Tips のセットアップは、事前に以下の準備が完了している必要があります。

- TALON 本体がセットアップ済みであること
※対応するバージョンについては当ドキュメントの改版履歴に記載しています。
 - TALON 標準ファンクションがセットアップ済みであること
 - TALON リポジトリ移送機能がセットアップ済みであること
-

<注意事項>

-  TALON バージョンにより画面イメージが異なる場合があります。

3 Tips セットアップ

当 Tips を利用する為に必要なセットアップ手順を記載いたします。

3.1 事前準備

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.1 事前準備」を参照してください。

3.2 事前準備 2

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.2 事前準備 2」を参照してください。

3.3 セットアップ

下記セットアップを実施してください。

No.	実施有無		
1	×	スクリプトパッチの適用	
2	○	機能のインストール	Tips 番号 : 0003 (リポジトリデータ : TLN_TIPS_0003)
3	○	機能のセットアップ	Tips 番号 : 0003
4	○	機能利用権限の付与	Tips 番号 : 0003
5	×	DocRoot ファイルの 配備	
6	×	その他	

3.4 セットアップ（その他）

当 Tips はその他の作業はありません。

4 Tips 概要

4.1 概要

親子構造の階層データを TALON で表示します。

階層はドリルダウンで展開することが可能になります。

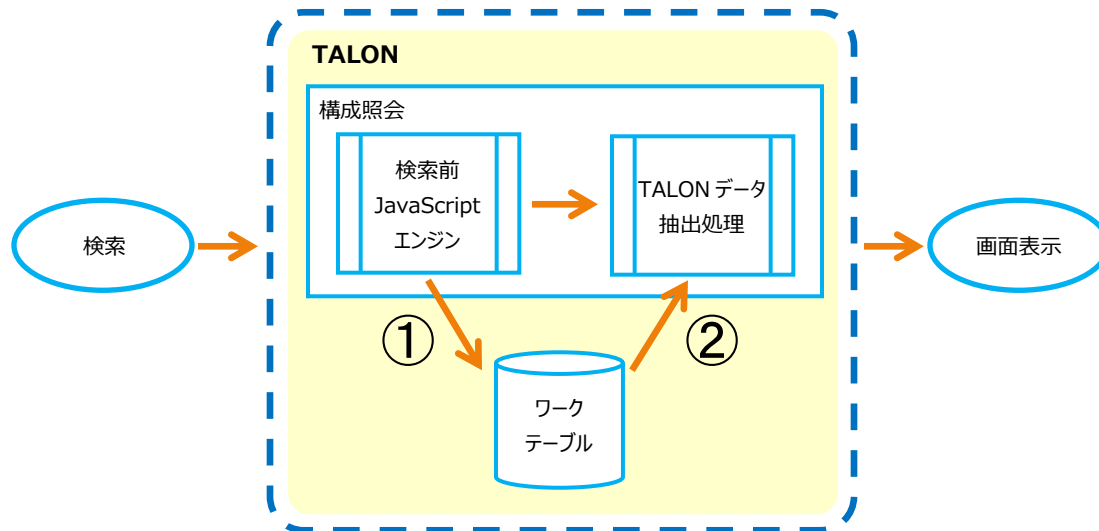
The screenshot displays the TALON application interface. At the top, there is a header bar with the user name 'TALONデモユーザ' and a 'LOG' button. Below this is a navigation bar with the text '汎用アプリケーション (TIPS構成照会)' and a '閉じる' button. The main area contains a search bar with '検索条件' and a search icon, followed by a checkbox for '起動時の初期条件にする' and buttons for '保存' and '削除'. Below the search bar is a section for '機能名' with a dropdown menu set to 'TIPS構成照会'. This is followed by a row of filters including 'PJ', 'sample', 'I/A' #1品目, 'I/A' #1品目番号*, '中間品', '含む', '展開方向', and '正展開'. Below these are buttons for 'A 4縦', 'PDF出力', 'クリア', 'Excel出力', and '検索'. A status bar shows '構成照会 項目 表示展開レベル: 2' and '検索結果: 65件'. The main table has columns: '階層', 'I/A', '工順', '指図コード', '品目番号', '品目名', '品目グループ', '品目グループ名', '品目種別', and '数量'. The table data is as follows:

階層	I/A	工順	指図コード	品目番号	品目名	品目グループ	品目グループ名	品目種別	数量
1 ▼				ItemA	製品 A			製品	
2		10 In		Press1	プレス品 1			半製品	1
2 ▼		10 In0		MoldA1	鋳型 A 1			半製品	2
3		10 In1		m1	素材 1			購買品	1
2 ▼		10 In0		MoldA2	鋳型 A 2			半製品	2
3		10 In		m2	素材 2			購買品	1
2		10 In2		Material1	材料 1			購買品	1
2				Material2	材料 2			購買品	1
1 ▶				ItemB	製品 B			製品	
1 ▶								製品	
1 ▶								製品	

A callout box points to the '階層' column, containing the text: '親子関係のある構造をドリルダウンで表示します。階層レベルをクリックすると、その下の階層のデータが展開されます。'

4.2 処理フロー

4.2.1 処理フロー



4.2.2 処理内容

- ① 利用者による検索より、その条件に合ったデータを取得し、ワークテーブルに登録。
- ② TALON の通常機能よりそのワークテーブルのデータを参照し、データを画面に表示。

4.3 構築のポイント

- ① TALON の「DB 検索 JavaScript(処理前)」、もしくは「DB 検索プロシージャ名(処理前)」を利用することで TALON の通常の検索が実施される前に、任意の処理を実行することが可能です。
(サンプルでは JavaScript エンジンを使用しています。)
それにより、指定された検索条件で画面に表示したいデータでワークテーブルを作成し、TALON 機能で読み込ませる仕組みを構築することが可能になります。
- ② 作成するワークテーブルのデータにレベル番号を設けることで、TALON の標準機能である「ドリルダウン」を使用した階層表現が可能になります。

4.4 サンプル機能

➤ TALON、TALON 関連機能

関連機能名	種別	関連機能 ID
TIPS0003_構成照会	TALON	TLN_TIPS_0003_BOM_LIST

➤ データベース関連

関連機能名	種別	関連機能 ID
TIPS0003_BOM 構成テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0003_M_BOM
TIPS0003_品目マスタテーブル	TABLE	TLN_TIPS_0003_M_ITEM
TIPS0003_BOM 構成テーブル (WORK)	TABLE	TLN_TIPS_0003_WK_BOM

4.5 構築方法

＜機能構築の流れ＞



4.5.1 TALON 機能の構築

サンプル：構成照会機能の構築

① 明細タイプ（更新有）機能の構築

※ 機能構築チュートリアル「[一覧照会機能の構築](#)」を参照してください。

Point 「SELECT 式」ではワークテーブルチェックからデータの抽出を行う

TALON の検索前の処理にて、画面に表示する為のデータをワークテーブルにデータの書き込みを行い、TALON ではそのワークテーブルの内容を表示する仕組みとします。

② ドリルダウン機能の設定

※ ドリルダウンの設定については機能構築マニュアル「[6.3 ドリルダウン](#)」を参照してください。

Point ドリルダウン用のレベル項目にチェックを付ける

ワークテーブルにデータを書き込む際に、階層レベルを付与するようにします。TALON ではその階層レベルの項目を指定することで、画面にドリルダウンで表現します。

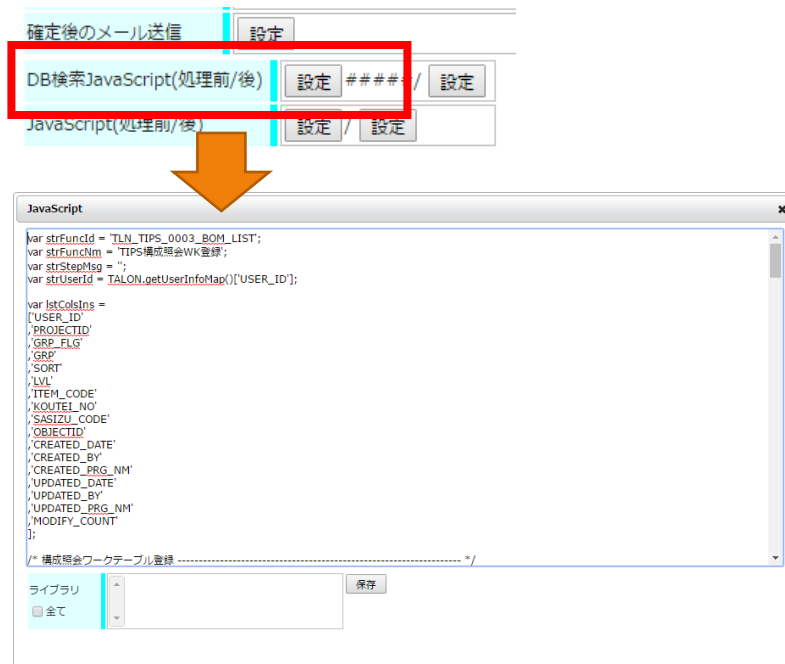
物理項目名	表示項目名	データ型	ドリルダウン レベル項目
SORT			<input type="checkbox"/>
LVL	レベル		<input checked="" type="checkbox"/>
KOUTEI_NO	工順		<input type="checkbox"/>
SASIZU_CODE	指図コード		<input type="checkbox"/>

③ DB 検索 JavaScript（処理前）の組み込み

※ DB 検索前 JavaScript の設定については機能構築マニュアル「[JavaScript エンジン](#)」を参照してください。

Point DB 検索前の JavaScript にコードを記述する

DB 検索前の JavaScript にコードを記述することで、機能構築時に設定した SELECT 文が実行される前に、当 JavaScript が実行されます。



SELECT 実行と同じトランザクションで JavaScript エンジン内の SQL も実行される為、検索前に事前にデータを作成し、そのデータを TALON にて表示することが可能になります。

Point JavaScript エンジンによる検索条件の取得方法

- メソッド : TALON.getConditionData()
- タイプ : java.util.Map<java.lang.String,java.lang.Object>
- 説明 : 検索条件データを取得する

<使用例>

```
//検索条件項目'XXXXXXX'の値を取得する。
var XXXXXXXX_VALUE = TALON.getConditionData()['XXXXXXX'];
```

Point**JavaScript エンジンによる SELECT 文発行**

- メソッド : TALON.select(java.lang.String sqlStr)
- タイプ : java.util.List<java.util.Map<java.lang.String,java.lang.Object>>
- 説明 : SELECT 文を発行する

<使用例>

```
//SELECT 文を作成する。  
var strSQL = "SELECT ITEM_CODE, ITEM_NM FROM SAMPLE_MST_ITEM";  
//SELECT 文を発行する。  
var lstSelect = TALON.select(strSQL);
```

Point**JavaScript エンジンによる SELECT データの取得**

上記で取得したリスト変数の内容より、SELECT 結果を取得する。

<使用例>

```
//SELECT 結果を取得する。  
for(var i = 0; i < lstSelect.size(); i++){  
    var mapSelect = lstSelect[i];  
    var _ITEM_CODE = mapSelect['ITEM_CODE'];  
    var ITEM_NM = mapSelect['ITEM_NM'];  
}
```

Point**JavaScript エンジンによるデータ登録（INSERT 実行）**

- メソッド : TALON.insertByMap(
 java.lang.String tableName,
 java.util.Map<java.lang.String,java.lang.Object> dataMap,
 java.lang.String[] targetColNameTbl
)
■タイプ : int
■説明 : INSERT 文を発行する。

<使用例>

```
//テーブルのフィールドの定義
var lstColsIns = [
    'ITEM_CODE'
    , 'ITEM_NM'
];

//登録するデータの準備
var mapData = new Array();
var dtNow = new java.util.Date();
mapData['ITEM_CODE'] = "AAAAAA";
mapData['ITEM_NM'] = "あああああ";

//テーブルにデータを登録する
var cntInsert = TALON.insertByMap('SAMPLE_MST_ITEM', mapData, lstColsIns);
```

4.6 利用 TALON 機能

- 6.2 プロシージャ > 6.2.4 検索処理の前後にプロシージャを呼び出す方法
- 6.3 ドリルダウン
- 6.16 JavaScript エンジン > 6.16.2 各種タイミングで JavaScript エンジン呼び出す方法

5 改版履歴

日付	版数	内容
2017/04/01	第 1.0 版	初版
2018/07/10	第 1.1 版	TALON Ver4.1.5 に対応しました。 PostgreSQL に対応しました。
2019/06/01	第 1.2 版	TALON Ver.5 に対応しました。